

100



九特根機密第四〇號ノ五

昭和十九年九月二日

第九特別根據地隊戰鬥詳報第二一號

昭和十九年九月二日戰鬥

第九特別根據地隊



0304

七	六	五	四	三	二	一	
所	功	我	成	經	計	形	
見	績	が	果	過	画	勢	目
		兵					次
		力					
		現					
		狀					

(目次終)

71
92
⑤
0 51
524

0305

一 形勢

(イ) 發動前ニ於ケル敵狀

敵機動部隊八月二十五日ハ、
同港附近ニ集中シ、偵察並ニ敵搭乗員ノ救助作業ニ從事セシ
メシコト確實ナルモ其ノ右西海岸ニ於ケル敵ノ動靜不明ナリ

(ロ) 彼敵ノ兵力

時設監視艇第五關洋丸護衛トシテ當隊附屬雜役船サバン丸
及千八号機帆船ハ、
中九月六日ノ四時。Nニ度五五分E九六度ニテ附近ニ於テ敵潜水
艦一隻ト遭遇セリ

二 計画

當隊兵力部署所定

0306

三 經過

時 刻	サバン丸	第五開洋丸	二八号機帆船	敵潜水艦
九月二日 一四〇。	主上の度二五〇。米ニ敵潜水艦洋上中サバン丸見大ボンド砲初撃砲撃續イナト三砲一ヲ以テ砲撃開始	サバン丸砲撃ト同時ニ敵潜水艦ニ對シテ向首全透カヲ以テ突去	サバン丸 砲撃ト同時ニ薩摩ニ向ヒ退シツノトニ概機一ヲ以テ銃撃開始	サバン丸砲撃ト同時ニ敵潜水艦ニ對シテ向首全透カヲ以テ突去
一四一。	六ボンド砲三弾敵潜水艦、左舷中部水線上ニ命中	突撃シツツニ。後所、射程ニ入りタルヲ以テ銃撃開始		
一四二。	左舷中部水線上ニ一発被弾尚砲撃及遊撃運動繼續ノマ、メボトニ向フ	敵艦ト距離約三〇〇。米ニ於テ被弾十五発負傷三名		
一四三。	前部砲ヲ天々サバン丸及第五開洋丸ニ分火指向ス			
一四四。	反転シツツ第五開洋丸ニ全砲 砲火ヲ指向ス			

0307

一四三。

一四四。

一四五。

一四六。

南艦松尾 暴雷五
個海中ニ投テ示

再度敵潛ニ對シ向
首全速力ヲ以テ突
撃シテ松尾一七七號所
一及小銃ヲ以テ敵潛
ヲ銃殺ス

艦橋ニ登被彈艇長
中國忠勇外ニ召戰
死艇輪破損艇索切
断シ直ニ人カ操舵ニ任
務ス

海軍上等兵曹田村
勲指揮シ下ニ戰斗經
緯中敵艇ヲ全没水
大ニ月 爆雷五個投
棄ス

更ニ反撃シテ第五
開洋丸ニ向テ前
部砲火ヲ第五開洋
丸ニ后部砲火ヲサ
パン丸ニ指シ又

第五開洋丸ニ近
迫距離約一〇〇
メートル

0308

一六〇〇	一五三〇	一五二〇
始 至 礁	護水上甲板ニ及ビ候 間遂ニ停止 漂流ヲ	
<p>鏡 北 盡 岸 ニ 至 ス</p> <p>鏡 北 盡 岸 ニ 至 ス</p>		
視 界 外 ニ 去 ル	追 殺 手 ス	第五開洋丸ヲ檢テ ニ八号機帆船ヲ 追殺手ス

79.1
4社

0309

戦中發受セキ主要ナル令達報告等ニ通

發	受(宛)	令達報告等
二日一四〇〇 サバン丸	285F 司令官	敵潜見エ、メラボ一港外一四〇〇。
サバシ丸 一四三〇	右全	敵潜ノ砲撃ヲ受テ損害輕微一四三〇。
サバン丸 一四五〇	右全	敵潜追躡我交戦中一四五〇。
285F 司令官	司令官	メラボ一港外ノ敵潜攻表ニ飛行機願度(電話)
285F 司令官	着陸所 マア海面對潜 着陸所 サバシ丸 サバシ丸 サバシ丸	對潜報告 サバン丸報告 一四〇〇メラボ一港外敵潜一隻發見
285F 司令官	サバン丸	次軍飛行機敵潜攻表ニ向フ
285F 司令官	サバン丸	敵潜潜没ス一六〇〇。
285F 司令官	705 f8 AB 着陸所	一四四〇サバン丸船団メラボ一港外ニテ敵浮上潜水艦 ト交戦中 六七〇五部隊ハ艦攻適宜ヲ以テ之ヲ攻撃スベシ 船団ハ今夜メラボ一港外決戦トシ

0310

<p>一六二五 9209 司令官</p>	<p>一六三五 9209 司令官</p>	<p>一八四〇 サバン丸</p>	<p>二二五〇</p>
<p>サバン丸 五開洋丸</p>	<p>九龍船師 ハズン</p>	<p>9207 司令官 2854 司令官</p>	<p></p>
<p>其ノ右ノ状況知ラセ 明日一〇〇ヨリ二十八航戦ヲ飛行機船団護イタルニ付一〇〇 頃出港セヨ、行動予定ハ當隊ニ報告スルト共ニ二十八航戦 及サマランガ飛行基地ニ通報セヨ</p>			
<p>サバン丸外ニ隻ニテ一港外ニ於テ引続キ敵艦ト云 戦中</p>			
<p>詳報一 敵艦一隻一四〇。船団左舷ニ至リテ発見直ニ砲臺開始約一時間 三十分位戦ヲス、防イカサキ機帆船ハ逃避スルヨリE 96.20 ニシマタ</p>			
<p>五開洋丸ヲジヤ岬方面ニ退避ス、其ノ後ハ状況不明 機帆船ノ状況ハ不明トシテ、艦隊ヨリ人員ヲ派遣シ調査中 敵ニ与ヘタル損害 五五打砲彈三發、世命中セルモノ如シ 其ノ他至近詳アル見込 五ノ積答</p>			
<p>左舷中部ニ一彈ヲ被ルモ航海ニ差支トシ 一水柱竹芥太郎左ノ時部ニ彈光首管割ヲ受ケ、發傷 使用弾數 五五打砲彈一四七發、十三耗四五。発砲彈、殘彈三發 機帆船被害状況後報ス、サバン丸指揮官</p>			
<p>一ニ八号機帆船V 30.45 E 96.30ニ生礁現在浸水大ニシテ、積荷ハ全 部使用ニ堪ヘズ吃水船下ニ被弾アルニ生礁後波浪ノ為船体 各部ヨリ浸水シアリ、且龍骨折損セル模様ニシテ引降スルニ</p>			

0311

<p>三日月五五 陸軍防衛隊長 マラボイ</p>	<p>9a8g 司令官 シボルガ</p>	<p>7a8g 司令官 藤野少尉</p>	<p>シボルガ派遣隊 第六号</p>	<p>マラボイ防衛隊 藤野海軍少尉</p>
<p>9a8g 副官 (電話)</p>	<p>85f 司令官 シボルガ</p>	<p>サバン丸指揮官 マラボイ防衛隊 中継(電話)</p>	<p>シボルガ派遣隊 第九号</p>	<p>9a8g 副官</p>
<p>浮揚不能ト思ハル 第五開洋丸ハ特帆船ヲ巨タル四層ノ地底ニ坐礁被弾十数発内吃 水線下數彈アリ浸水大ニシテ現在船内ニ満水右四五度ニ傾キ波 浪艦橋ヲ洗フ 戦死 艦長中園兵曹長 福永上曹 船員皇見兼美外戦傷三 アリ</p>	<p>第五開洋丸、サバン丸及ニ八号機帆船ハダンヨリサバンニ回航中、二日 四ヨリ約一時間半ニ亘リ敵艦ト交戦各船共ニ被害及戦死 傷者アリ第五開洋丸及ニ八号機帆船ハ三度四五分、九六度三〇 分ニ坐礁サバン丸ハマラボイニ避泊セリ、対潜掃蕩艇ニ敵艦ニ 関シ手配ヲ得度</p>	<p>貴官ハ速ニ搭載セメントラマラボイニ陸揚ゲ軍需部漁船ト共ニ五 開洋丸ニ八号特帆船坐礁現場ニ急行、極力負傷者、兵器、弾 藥汽罐其他使用シ得ル搭載物件ヲ陸揚セヨ</p>	<p>第九号ハニ十九号機帆船ヲ護イコマラボイニ急行、ニ十九号機帆船 ヲ避泊セシメタル後、コラマラ附近ニ坐礁中、第五開洋丸及ニ八号機帆船 船ノ離礁作業ヲ援助スヘシ</p>	<p>本日天候不良波浪高々五開洋機帆船ニ近寄リ難ク物件陸揚 作業極メテ困難ナリシガ陸軍ノ助力ニヨリ機帆船機帆船機帆船 傷者及五開洋丸ノ機密圖書ヲ陸揚收容セリ尚雨船共ハ波浪ノ為</p>

0312

五日一〇〇〇 根拠令 第九号 六日一八三〇 第一防多隊 藤野少尉	シボルガ 喜久丸	根拠令 第九号 船員 着艦所 概	司令官 八バン丸 根拠令第八号 一八五五
本日陸揚作業状況 本日は天候不良海上巻波多作業中止通過船七隻八号機帆 船被服兵器及第五開洋丸搭載機銃銃統小銃彈藥被服類索 具の一部及死傷者収容完了セリ	一 當隊電令第六号ヲ取止ム 二 喜久丸ハ九号機帆船ヲ護衛速ニ帰投スベシ	(イ) 第五開洋丸被弾五発(内二発水線下)戦死三重傷七被害及海面状況ヨリ離礁至難模様 (ロ) 二八号機帆船被弾一為船體ニ浸水ナリ戦死下士官一兵補一負傷下士官二兵補一高機可能見込 (ハ) 八バン丸被弾アルモ損害輕微一自力航行ニ差支ナシ	船体分裂、懼アリ 傷者及「メロボー」陸揚セメントヲ搭載、上帰投セヨ 一日一四〇。第五開洋丸八バン丸二八号機帆船ハダンコリ八バンニ向ケ航行中、メロボー五度五分九六度ニ分附近ニ於テ敵艦一隻船困、左舷ニ五〇附近ニ岸上砲戦船一隊間半白之ヲ襲退ス 二 戦米六和ノド砲三發命中、其他至近彈アルモノ如キモ効果不明ニ被害 (イ) 第五開洋丸被弾五發(内二發水線下)戦死三重傷七被害及海面状況ヨリ離礁至難模様 (ロ) 二八号機帆船被弾一為船體ニ浸水ナリ 戦死下士官一兵補一負傷下士官二兵補一高機可能見込 (ハ) 八バン丸被弾アルモ損害輕微一自力航行ニ差支ナシ

0313

四 成果

敵潜水艦左舷中部水線上ニ六ホンド砲命中彈三發ヲ予ヘ得タルモ
果詳細不明ナリ

五 我が兵力ノ現状

(イ) 第五開洋丸

被彈ニ七發 浸水ノ為ニ焦セルモ 風浪大ニシテ 救難作業進捗セズ

九月九日船体四散シ 船影ヲ没スルニ至レシヲ以テ 遂ニ抛棄ス

搭載兵器及於密書類 全部收容ヲ了ス

(ロ) 二八号 帆帆船

被彈ニ九發 坐礁後救難作業ヲ實施セルモ 風浪大ニシテ 作業進捗セズ

九月九日船体前中 右部ニ於テ 三分シ 遂ニ抛棄ノ止ム 無キニ至レリ

第五開洋丸ノ被弾状況
二日ノ夜、第五開洋丸ハ、二八号帆帆船ニ被弾シ、左舷中部水線上ニ六ホンド砲命中彈三發ヲ予ヘ得タルモ、果詳細不明ナリ。
敵潜水艦左舷中部水線上ニ六ホンド砲命中彈三發ヲ予ヘ得タルモ、果詳細不明ナリ。
九月九日、船体四散シ、船影ヲ没スルニ至レシヲ以テ、遂ニ抛棄ス。
搭載兵器及於密書類、全部收容ヲ了ス。
二八号帆帆船、被彈ニ九發、坐礁後救難作業ヲ實施セルモ、風浪大ニシテ、作業進捗セズ。
九月九日、船体前中右部ニ於テ三分シ、遂ニ抛棄ノ止ム無キニ至レリ。

0314

(八) サバン丸

左舷中部水線上ニ被弾一發、戰鬥航海ニ支障無シ

六 功績

(一) 艇長海軍兵曹長中園忠男、指揮スル特設監視艇第五開洋丸、寡兵克ク敵艦ニ肉迫攻撃シ、敵艦ノ攻撃ヲ自艇ニ吸收サバン丸ヲシテ無事避遠セシムルヲ得タリ

不幸敵艦ト遇利スル、企図ハ敵艦ノ反撃ニ依リ中途ニシテ挫折セリトハ云ヘ其ノ旺盛ナル攻撃精神ト崇高ナル犠牲的精神ハ帝國海軍ノ傳統ヲ遺憾無ク發揮セルモノト認ム

(二) 艇長海軍兵曹長木内重雄、指揮スルサバン丸ハ克ク敵艦ヲ発見之ニ先制砲撃ヲ加ヘ命中彈三發ヲ與ヘタリ

七 所見

(一) 計画並ニ實施、適不

(二) サバン丸ハ積荷満載、關係上行動若干不如意ニシテタメニ第五開洋丸ト密接ナル協同、下ニ攻撃ヲ實施シ得ズ、個撃ニ陥リタル憾アリ

兩艇更ニ緊密ナル協同、下ニ攻撃ヲ實施セシナラバ、効果更ニ大ナルモノアリ

アリト認ム

(二) 廿八ノ丸ノ實態セリ避彈運動ハ適切ト認ム

當日ハ波浪ニ風送ハズルニ由リ船ノ爲兩艇共ニ相撞ク動搖アリ

海上ノ模様ハ彼ニ有利ニシテ我ニ不利ナリナラズ砲力ニ於テ彼我

邊ニ懸隔アリ

斯ノ如キ場合ニハ避彈運動實施ヲ可ト認ム

(三) 敵ニ對スル參考事項

(一) 今次ノ敵潛ハ大型潜水艦ニシテ前後部ニ八徑砲各一門艦橋附近ニ

ニ〇機銃銃一ハ聯裝ナラムト思料セラルモ詳細不明ナリ(イ) 裝備ス

(二) 急遽浮上砲戰ハ比較的迅速ニシテ艦橋尖端ノ露頂ヲ認メテヨリ初彈

發砲迄約一分以内ナリ

(三) 敵潜水艦艇員ノ素質ハ優秀ト云ヒ難シ

我ノ發砲度毎ニ艦橋對誘具ノ砲員共ニ身体ヲ構造物ニ隠レ敵セリ

(註)

0316

107

九月二日
 對海軍 海軍監視隊第五團洋丸 難波船廿六丸 及第三号 帆船 船体故障缺損調査表

故障缺損ノ名	原因	程度	処置ノ時間	記事
第五團洋丸 船体分裂沈没	被弾(上野砲隊) 多数ノ為浸水 甚ク強ク船内 満水風浪強ク難 波浮揚不能ト ナリ又ルロキ	被弾ニシテ水 線下凡テ断テ 輪船索切斷船内 満水船体傾キ 浪ノ為船体分裂 沈没ス	極力難急修業 口如カシテ船内 浪極メテ難ク処置 ナキ状態ナリキ	船体分裂 引揚不能
第二十八号 帆船 船体分離沈没	被弾、浸水 並ニ強ク	船体脆弱ニシテ浪 水多クナリニ加 テ被弾ノ為浸水 浪強ク外海ニ 並ニ強クニ船体 々々分裂ス	戦前前ヨリ漏水多ク脆 弱ナルヲ憂ヒツテリシ 状態ニシテ並ニ強ク 何等 難ク処置ナク 浸水分裂ス	船体分裂 引揚不能
廿六丸 中部左舷一部破損	被弾ノ為	被弾ニヨル 外舷破損	直チニ難急修理ヲ ナス要ヒシ時間三十 分	修理航行差支ナシ

0318

九月二日
 對海戰鬥 特設監視艇第五開洋丸雜貨船サバン丸及第六号機帆船兵器調査表

雷爆		砲							兵器別					
敵	産	三八式小銃	七七式機銃彈	三八式小銃	七七式小銃彈	七七式機銃銃彈	二〇式機銃銃彈	十三號機銃銃彈	六ボンド砲彈	種類	消耗数量	發	額	記
	五	二五〇	二〇〇〇	二〇〇〇	一五〇	八四〇	二〇〇	四五〇	一四七					サバン丸
	五													サバン丸
														第五開洋丸
														第二八号機帆船

0319

108

石炭	潤滑油		揮發油	輕油		重油	燃料種別
0.5トン	1.2トン	0.5トン	1.5トン	1.5トン	0.2トン	6.3トン	戦中消費額
1.2トン		0.5トン			不明	1.5トン	戦前消費額
ガパン丸		ガパン丸		戦中陸軍	第六号機帆船	第五關洋丸	燃料消費調査表

九月二日
 燃料消費調査表
 戦中消費額
 戦前消費額
 第六号機帆船
 第五關洋丸
 燃料消費調査表

0320

7p

別紙第二

2°55'

